

ローカル 神保原駅北まちづくり「Local(地元住民)会議」について

1. 会議の目的

上里町では、令和5年3月に策定した神保原駅北まちづくり基本計画(以下、「基本計画」)の推進にあたり、駅北周辺の魅力の向上や活性化を図ることで、コンパクトで持続可能なまちづくりの実現を目指しています。

それには、駅北まちづくりの骨格軸である県道神保原停車場線(以下、「駅前通り」)の沿道や駅前広場等について、基本計画に位置付けられている整備方針を基に、そこに訪れたいくなる居心地のよい空間や環境を整えることが必要と考えています。

「Local(地元住民)会議」では、別途開催の「まちなか再生ワークショップ」により検討する、駅前通り及び駅前広場のウォーカブル空間(※)を踏まえ、駅前通りを拡幅した道路線形を考えていきます。

※ウォーカブル空間…道路を車中心から“人中心”へ再構築し、沿道と路上の一体的な利用により多様な活動ができる居心地の良い場を創出することで、人々が憩い集うことができ歩きたくなる空間。

ウォーカブル空間イメージ



2. 開催内容

1 開催日程

実施回	期日・会場	内容
第1回	令和6年2月27日(火) 午後6:00~8:00 福祉町民センター2F 研修室	【みちの使い方を考える】 ・ウォーカブルの考え方と道路線形3案について提示します。 ・WSの成果を共有し駅北エリアの課題を整理します。
第2回	令和6年3月26日(火) 午後6:00~8:00 福祉町民センター2F 研修室	【まち全体の使い方を考える】 ・第1回の成果をもとにブラッシュアップして提示します。 ・「滞在快適性等向上区域(まちなかウォーカブル区域)」の範囲の案を提示します。
第3回	※調整中のため、決まり次第お知らせいたします。 (5月中を予定)	【ウォーカブル空間配置計画図(案)により道路線形を考える】 ・ワークショップでの議論を踏まえて、まち全体の将来の使い方のイメージ(ウォーカブル空間配置計画図(案))を提示します。 ・残地を含んだ拡幅後の沿道のイメージ図を提示します。 ・「滞在快適性等向上区域(まちなかウォーカブル区域)」の更新案を提示し、道路線形を選択します。

※内容は検討状況等により変更となる場合があります。

2 参加者数 20名程度

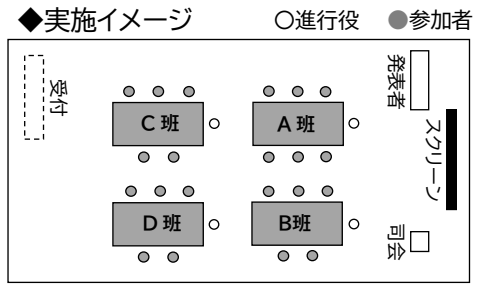
3 その他 参加に伴う報酬及び交通費の支給はありません。

4 スケジュール

	検討スケジュール(予定)							
	R5.11	12	1	2	3	4	5	6
まちづくり協議会	●		●			●		●
まちなか再生ワークショップ			●	●			●	●
Local会議				●	●	●	●	●
議会					●			●
まちづくりシンポジウム		●						

3. 実施方法

- ・1テーブル 5 名程度(4テーブル)
- ・テーブルごとに1名ファシリテーターを配置する
- ・各テーブルに大判図面(ウォーカブル空間配置図/道路線形図等)と筆記用具等を用意し、図面を囲って議論を行う
- ・終わりに各テーブルの意見を取りまとめファシリテーターが発表する



4. 神保原駅北まちづくり基本計画【参考】

「神保原駅北まちづくり基本計画」において、駅北周辺の魅力の向上や賑わいの創出に向け、空間の使い方や必要なしなかけをゾーンごとに示したもので、これを基にまちづくりを推進していきます。



5. 検討体制図【参考】

駅前広場及び神保原停車場線等の整備に向け、ルートやウォーカブル空間のデザイン等について本体制により検討していきます。

